

施策番号	0302		
施策名	課題に直面する青少年の総合的支援の推進		
概要	ニート、ひきこもり等、社会生活を円滑に営むうえでの課題に直面する子ども・若者に対して、個々の状況に応じた総合的・継続的な支援を推進する。		
担当局・部室	文化市民局・共同参画社会推進部	共管局・部室	
上位政策	3 青少年の成長と参加		
施策に関係する 主な分野別計画等	はばたけ未来へ！京都市ユースアクションプランー第3次京都市青少年育成計画ー		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1 就職等進路決定者数(人)	-	-	65	110	60	183.3%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		c	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答						有効回答 者数	評価
	そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない			
1 青少年がニート（仕事も家事も通学もしていない15歳から概ね34歳までのひと）、不登校などの課題に直面したときに信頼して相談できるところがあり、支援がされている。	4	52	185	130	87	458	d	
	0.9%	11.4%	40.4%	28.4%	19.0%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
						市民生活実感調査総合評価		d



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23 年度	C
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	d		
(重み付けの理由) 課題に直面する青少年という対象者が限られた施策であり、市民の生活実態に施策の効果がすぐには反映されにくい性質があるため、客観指標総合評価を重視する。						年 度	-
(原因分析) ・ジョブカードの発行による職業訓練への繋ぎの強化などにより、就職、進学、復学、職業訓練受講などの進路決定者を増加させることができた。 ・市民生活実感評価については、ニートやひきこもり、不登校等が社会的な問題であることや、課題に直面した時の相談機関等の情報が一般の方に認知されていないことが原因であると考えられる。							

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	若者サポートステーション	8,610	7,526	かなり良い	文化市民局
2	登録サポーター制度	5,421	—	良い	文化市民局
3	子ども・若者総合支援事業	65,078	61,820	かなり良い	文化市民局
4	登録サポーターの活用事業	—	5,400	—	文化市民局
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

- ・ 支援対象者の課題に応じた支援を実施するため、他の支援機関との連携強化を図る。
- ・ 青少年活動センターにおける職業体験、企業人とのふれあい、農林業就労体験など職業ふれあい事業をより充実し、支援対象者の職業意識の醸成を図る。

施策名	0302	課題に直面する青少年の総合的支援の推進				
指標名	就職等進路決定者数（人）					
担当課	勤労福祉青少年課	連絡先	222-3222			
1 指標の説明						
京都若者サポートステーションの支援により，就職，進学，復学，職業訓練受講など，進路決定した者の数						
2 指標の意味			3 算出方法・出典等			
課題に直面する青少年，とりわけ若年無業者への職業的自立支援の取組成果を示す指標			出典：事業担当課調べ			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		達成度
	22年度	23年度		数値	根拠	
数値	65	110	45人増	60	国との間で設定した目標値(平成23年度地域若者サポートステーション事業に係る企画書で設定)に準拠	183.3%
	全国順位	中長期目標			根拠	
		数値	目標年次	達成度		
数値						
備考	指標変更（平成24年度～） 「新成長戦略」（平成22年6月18日閣議決定）において、2020年までの目標として地域若者サポートステーション事業による就職等進路決定者数が10万人と設され、これに合わせて平成24年度からの国への報告事項（目標進捗管理）が整理されたため、これに準じる。					
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
達成度が a：100%以上 b：80%以上 c：60%以上～80%未満 d：40%以上～60%未満 e：40%未満		均等に区分することで基準を設定した。		22	23	24
				-	-	a